



マイナス側をボディアースで取っている場合は、図のように配線されることが理想です。  
 feelには太い線（4 or 8G）で入力することで、大きな電力を確保し早く満充電とします。  
 feelからの出力線には細い線（8G）を使用することで、高い周波数までインピーダンスが  
 低くなることにより、スイッチング電源の動作と音楽信号とのバランスがとりやすくなります。  
 ※システムにより接続方法が異なる場合がございます。ご不明な点は、メールにてお問い合わせください。